

バイオものづくり革命推進事業

製紙産業素材を活用したバイオ燃料・樹脂原料等の商用生産に向けた研究開発・実証

事業期間

2023年度～2030年度(8年間)

事業の目的・概要

未利用資源 パルプ・古紙パルプ・ペーパースラッジを用いて 糖化・発酵法にてエタノール・樹脂原料・アミノ酸を開発する

【研究開発項目①-b/補助】：未利用資源の原料化のための開発・実証

【研究開発項目②-a/補助】：C5糖の資化可能なアミノ酸・有機酸生産菌の開発

【研究開発項目③ /補助】：低コスト糖液生産システムと同時糖化発酵プロセスや
菌体リサイクルプロセスにも対応した発酵設備の開発・実証

【研究開発項目④ /補助】：同時糖化発酵プロセスや菌体リサイクルプロセスにも対応
した分離・精製設備の開発・実証

【研究開発項目⑤ /委託】：バイオものづくり製品の社会実装のための評価手法等の開発

実施体制

※太字：幹事企業

大王製紙株式会社 (①-b, ③, ④, ⑤)

Green Earth Institute株式会社 (①-b, ②-a, ③, ④)

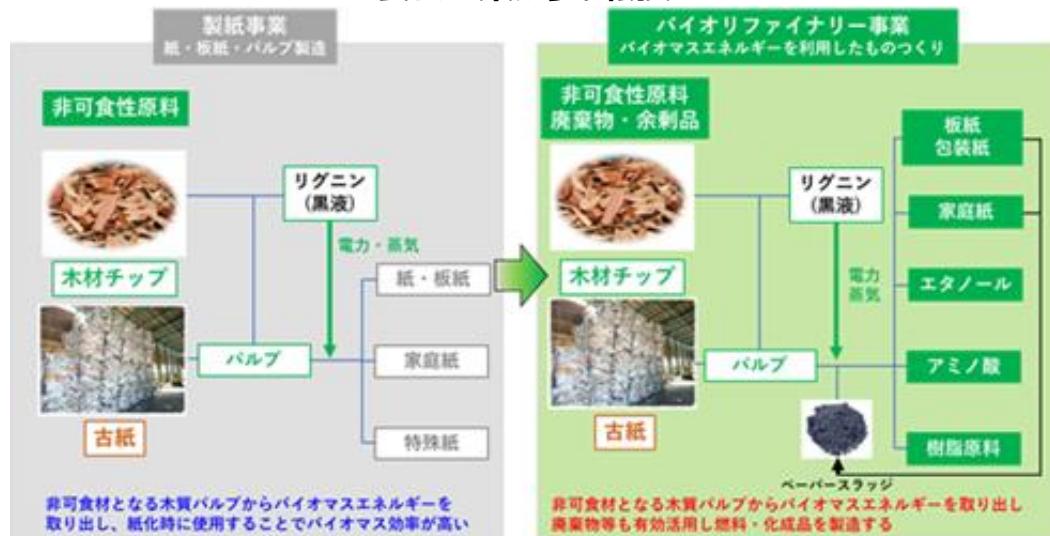
事業規模など

□ 事業規模： 約147億円 □ 支援規模*：約57億円

* 補助率 … ①-b : 1/2, ② : 1/2, ③ : 2/3～1/3, ④ : 1/3

事業イメージ

製紙産業からの転換



グラフィック用紙を中心に紙需要が低迷する中で、バイオマス原料と原料から取り出し
たバイオマスエネルギーを用い、尚且つ廃棄物を一部原料として活用することで環境負荷
低減とバイオ化成品の安定供給を両立させ、製紙産業の事業転換のモデルケースとする。

事業全体像



植林事業と製紙産業・バイオケミカルを融合させることでCO₂排出量を削減しながら、原料から製品までのサプライチェーンの構築を進め循環型産業への転換と
バイオ化成品の普及・振興を進める。